資料１

岡山県立図書館 第４次中期サービス目標の概要

令和３年度から令和７年度までの５年間

５つの基本的性格

１　県民に開かれた図書館

○資料・情報の提供
- ①来館者サービスの向上
- ②ユニバーサルデザインの視点に立ったサービスの推進
- ③非来館型サービスの向上

○県民参加による図書館づくり
- ④公聴広報活動の推進
- ⑤図書館の魅力を伝えるイベントの開催
- ⑥県民との協働の推進
- ⑦郷土資料の寄贈受入及び郷土情報募集事業の推進

２　県域の中枢となる図書館

○県内公共図書館の振興
- ①県内公共図書館への支援の推進
- ②図書館に関する調査とその公表の推進

○図書館職員の資質能力の向上
- ③図書館職員研修の充実
- ④岡山県立図書館職員の専門性の向上

○図書館ネットワークの拡充・強化
- ⑤県内図書館等とのネットワークの推進
- ⑥県外図書館等とのネットワークの推進

「５つの基本的性格」は、それぞれ独立したものではなく、互いに関連し合い、相乗効果により、より充実した図書館サービスの提供を目指すものです。

３　調査・研究センターとしての図書館

○主題別６部門制による調査・研究支援
- ①レファレンスの充実
- ②関係機関と連携した調査・研究支援の充実

○課題解決支援機能の充実
- ③ビジネス支援の充実
- ④身近な課題解決支援の充実

○児童図書研究室の活用
- ⑤新刊児童図書及び児童図書研究書収集の促進

４　デジタルネットワークに対応する図書館

○デジタル岡山大百科の充実
- ①郷土情報ネットワークの充実と利用促進
- ②レファレンスデータベースの充実

○デジタルネットワークの活用
- ③外部から導入して提供するデータベースサービス等の利用促進
- ④サピエ図書館等の活用の推進
- ⑤電子書籍サービスの導入

５　資料保存センターとしての図書館

○資料の収集
- ①新刊図書の効率的な収集
- ②郷土資料の収集の促進

○資料の保存
- ③県域の資料保存センター機能の充実
- ④長期保存対策の推進

２つの重点プログラム

１　生き活き子ども読書プログラム

○子ども読書活動推進センター機能の充実
- ①子どもの読書に関する調査・研究の支援の推進
- ②子どもの読書に関わる研修・普及啓発活動の推進
- ③子どもへのサービスの充実と郷土岡山を大切にする心の育成

○学校図書館への支援
- ④学校図書館への支援の推進
- ⑤学校図書館との協力体制の推進

第３次目標に引き続いて取り組みます。

２　図書館資源の活用促進プログラム

○図書館資源のアクセシビリティ向上
- ①電子書籍サービスの導入（再掲）
- ②ユニバーサルデザインの視点に立ったサービスの推進（再掲）
- ③郷土情報ネットワークの充実と利用促進（再掲）

○地域課題の解決に役立つ資料・情報の提供
- ④防災・減災に役立つ資料の収集保存と情報発信
- ⑤身近な課題解決支援の充実

第３次目標期間中における取組の成果と課題を踏まえ、特に重点的に取り組む必要があるもの２つを重点プログラムとしました。

項目ごとにサービス目標と指標を定め、実現に向けて努力します。